

# 大船駅周辺のまちづくり

大船駅周辺地区<sup>まち</sup>都市づくり基本計画(案)のあらまし



平成 15 年 3 月

鎌 倉 市

# まち <夢のある都市づくりが動いています。>

## ●大船駅北地区のまちづくり

大船駅北地区では、北の玄関口として地区の活性化を図るために、再開発事業等を推進し、商業拠点の形成や住宅等の再整備を行うとともに、大船駅北口開設計画にあわせた周辺の整備をすすめます。

## ●大船駅西口整備事業

大船駅西口では、駅利用者の利便性向上のため、両市域にわたる一体的な駅前広場や歩行者デッキ、阿久和鎌倉線等の整備をすすめます。

## ●大船駅の拡充整備

駅周辺の整備事業等にあわせ、既存自由通路等の拡充整備、北側自由通路の新設、南北を結ぶ歩行者通路の整備等により、駅周辺の一体性・回遊性を高めるとともに、誰もが利用しやすいバリアフリーの駅をめざします。

## ●大船駅東口市街地再開発事業

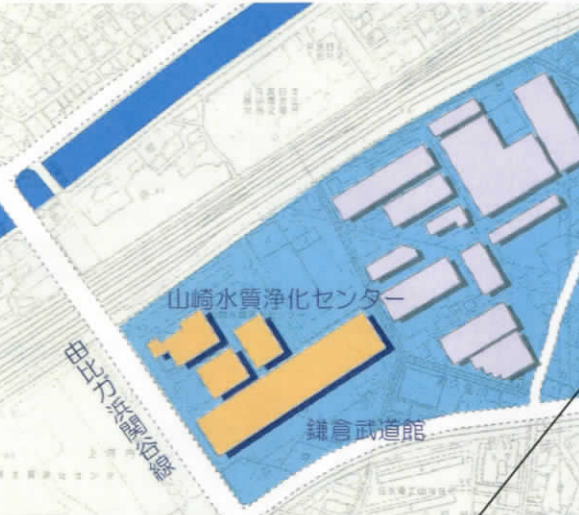
近年の社会経済情勢の変化に対応して、従来の都市計画の内容を変更し、地域密着型商業・住宅・公共公益施設を中心とした再開発事業の早期の事業実施をめざします。



<新基本構想のイメージ>

## ●仲通等東口南地区のまちづくり

仲通は、大船の商業を南北につなぐ商業軸であり、買物客の利便性や回遊性を高めるために、路地空間も含めた歩行者の優先化や道路空間のグレードアップを図るとともに、下町らしい雰囲気や市場的な賑わいを活かした魅力的な商店街としての発展をめざします。



## ●大船駅南部地区のまちづくり

田園踏切から鎌倉武道館に至る大船駅南部地区では、安全な道路交通環境の整備や災害に強いまちづくりの推進が強く求められています。そこで、「市街地整備」「土地利用」「防災」「都市環境」の4つのまちづくり方針を定め、地区の課題であるクランク状交差点周辺の整備と住環境の整備をすすめます。



<まちづくり協議会>

## ●腰越大船線の整備

藤沢方面と大船の中心市街地を結ぶ腰越大船線は、一部が未完成となっています。そこで、残り部分の早期完成をめざし事業化に取り組みます。

## ●大東橋周辺地区のまちづくり

大東橋周辺地区は、横浜市と鎌倉市との市境に位置することから、横浜市側の北地区のまちづくりと連携し、駅前空間の整備や大船駅近地区と鎌倉芸術館周辺地区をつなぐシンボルゾーンの形成をすすめます。

## ●(仮称)笠間線・小袋谷笠間線の整備

大船駅周辺地区への交通利便性の向上や駅前の交通混雑の抑制、深沢・戸塚等の周辺拠点との連携を図るため、(仮称)笠間線の整備及び小袋谷笠間線の機能強化をすすめます。



<道路断面のイメージ>

## ●砂押川プロムナードの整備

かつての大船田園都市のイメージをしるばせる桜並木が残されている砂押川沿いでは、既存道路の整備や沿道宅地の土地利用誘導等により、大船駅直近地区と周辺住宅地を結ぶ歩行者プロムナードを整備し、安全な歩行者空間をつくり、地区のアメニティの向上を図ります。



<砂押川プロムナード>

## ●都市軸(シンボルゾーン)の整備

都市計画道路大船停車場谷戸前線や松竹通りの沿道では、地区の特性にあわせた交通機能の充実を図るとともに、大船駅と鎌倉芸術館周辺とを結ぶ商業軸として、魅力的な商業空間の創出や建築物等が調和した良好な都市景観の形成をめざします。



<都市軸のイメージ>

## ●鎌倉芸術館周辺地区のまちづくり

鎌倉芸術館周辺地区では、地区内の大規模用地の土地利用転換等にあわせ、都市基盤施設の整備や賑わいをももたす都市空間の創出、歩行者・緑地空間(アーバンモール)などの都市環境の整備をすすめます。



<鎌倉芸術館>



<鎌倉女子大学>

- 公共公益施設
- 総合病院
- 金融機関
- 大型商業施設
- 宿泊施設
- 工業系施設

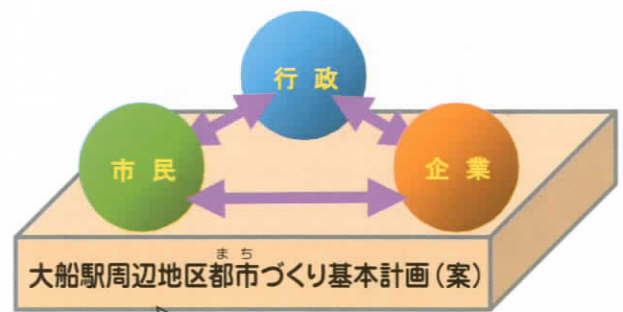
この図は平成15年3月時点で作成したものです。また、ハースや図は実際と内容が多少異なることがあります。

## まち 都市づくりに向けて・・・

大船駅周辺地区は、横浜・鎌倉市域にまたがり、東西を鉄道や河川等により分断されています。また土地利用転換や都市整備の進展により、まちの姿も刻々と移り変わろうとしています。

そのような中、総合的な都市づくりに向けて、平成8年2月に神奈川県、横浜市、鎌倉市により「大船駅周辺地区都市づくり基本計画（案）」がつけられました。そして近年の大船駅周辺地区を取り巻く様々な変化に対応するため、平成15年1月にこの基本計画（案）を改定しました。

この基本計画（案）は市民・企業・行政等が取り組む協働の都市づくりの土台となるものです。基本計画（案）の考え方を皆様と共有し、よりよいまちづくりをすすめていきます。



基本計画（案）の考え方を土台として協働の都市づくりをすすめます。

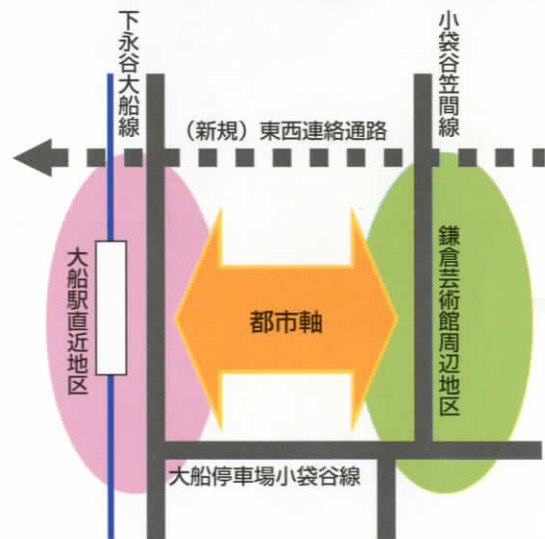
【協働の都市づくりの推進】

## まち 都市づくりの考え方は・・・

大船駅周辺地区は、「大船駅直近地区」と「鎌倉芸術館周辺地区」の2つの地区を、松竹通りと大船停車場谷戸前線が結んでいることによって、まちの賑わいが広がっています。

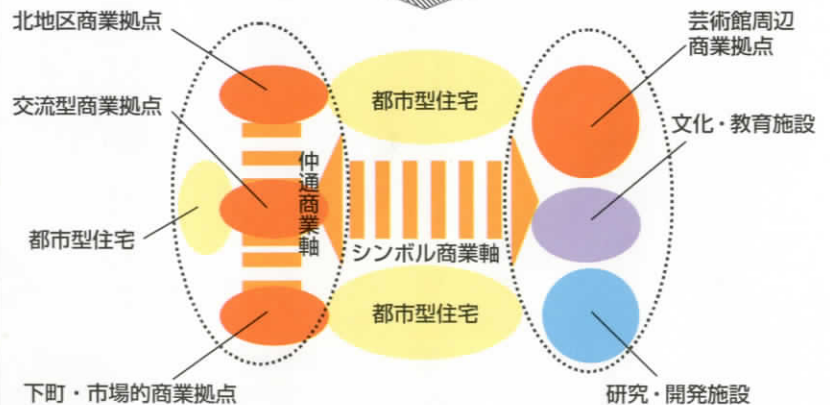
このような都市構造を活かして、基本計画（案）では、次のような考え方で都市づくりをすすめることとしています。

- 人が集まる2つの地区を「都市軸」でつなぐことによって、人々が回遊し、面的な広がりをもった賑わいのあるまちとします。
- 2つの地区を支える道路交通施設を整備します。



より具体的には

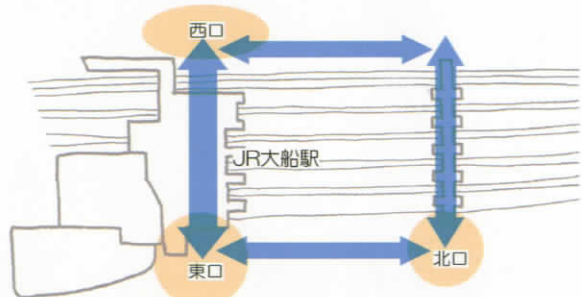
- 4つの商業拠点をそれぞれの特徴を活かして整備するとともに、2本の商業軸によって結び、回遊性と一体性を高めます。
- 様々なライフスタイルに対応できる住宅や、良好な街並みを創る都市型住宅の立地の促進をめざします。
- 鎌倉芸術館や鎌倉女子大学と周辺施設等との連携・協働を促進することで新たな魅力と活力を与えます。
- 大規模工場等の機能更新にあわせて、地域に開かれた研究・開発機能の誘導を図ります。



【基本方針にもとづく構想図】

### 大船駅ゾーン

- 人にやさしく、まちと一体になり、人々が回遊できる大船駅にします。
- ・駅自由通路及び駅舎の拡充整備
- ・北口及び北側自由通路の新設
- ・南北を結ぶ歩行者デッキの整備
- ・西口地区では、駅前広場の整備や分散しているバス機能の集約化等の検討を行い、利便性向上や魅力的な歩行者空間を創出



### 商業系複合ゾーン

- 商業拠点の充実と人々が回遊できる賑わいのあるまちを形成します。
- ・再開発事業の推進、駅前にふさわしい土地利用への誘導
- ・商業施設等と複合した多機能型住宅の導入
- ・北地区商業拠点の形成
- ・駅南側での下町的な雰囲気や市場的な賑わいを活かしたまちづくり



<賑わいある仲通のイメージ>

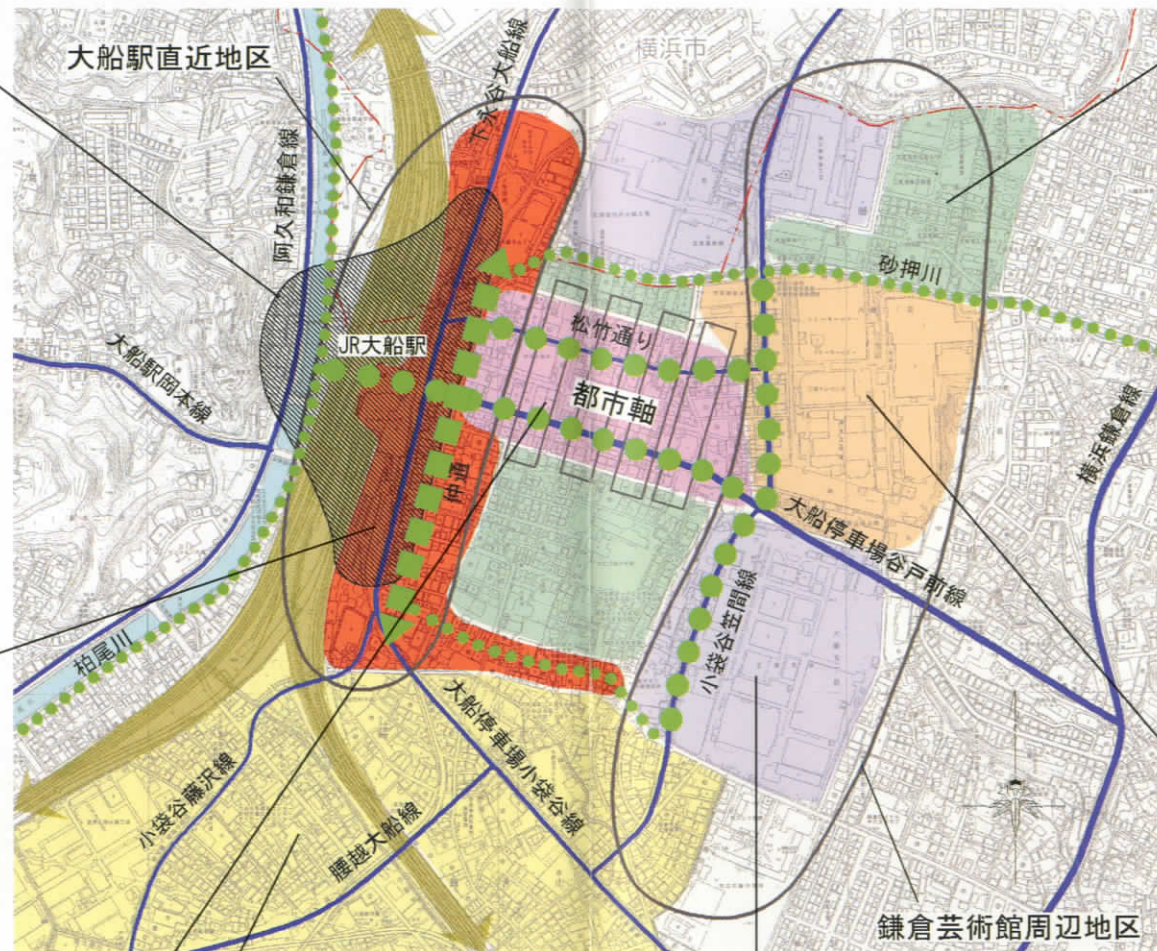
### 商業・交流ゾーン

- 都市軸としての魅力を高める整備をすすめます。
- ・魅力的な歩行者空間や街並みへの誘導
- ・人に優しくアメニティ豊かな都市環境・都市景観の創造
- ・商業施設と住宅が融合した賑わいある施設立地の誘導
- 大船停車場谷戸前線と仲通との交差部では、人が溜り集える辻広場的な空間の創出を図ります。



<賑わいある都市軸の整備イメージ>

【土地利用等の方向】



### 工業・住環境整備ゾーン

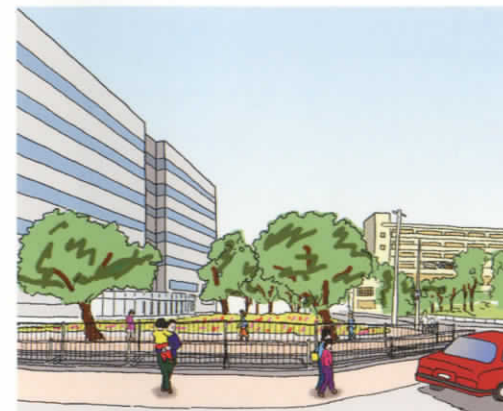
- 土地利用の混在が見られる地区南側では、土地利用の更新や歩道、公園緑地等の整備とあわせて、工業系土地利用の整序と災害に強い良好な住環境のまちづくりを図ります。



<防災道路の整備イメージ>

### 研究・開発・生産ゾーン

- 生産系の大規模工場から研究・開発系へ向けた機能更新にあわせ、地域に開かれた施設整備を誘導していきます。



<研究・開発・生産ゾーンのイメージ>

### 都市型住宅ゾーン

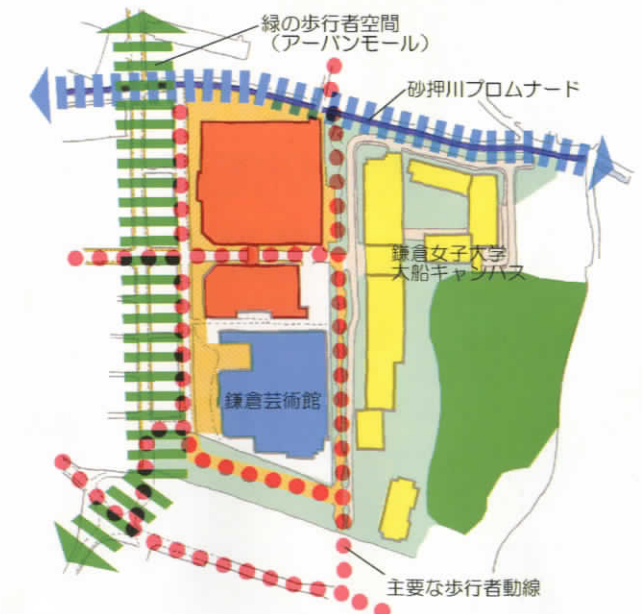
- 駅近傍の住宅地では、プロムナードや公園緑地、区画道路の整備、老朽木造住宅等の建て替えにおける共同化や建物の不燃化、耐震化等の誘導など総合的な環境整備をすすめ、住環境の整備と防災性の向上に努めます。



<都市型住宅のイメージ>

### 文化・教育ゾーン

- 文化の中心である鎌倉芸術館や、生涯学習機能を備えた鎌倉女子大学を中心に、文化・教育の発信拠点として、これにふさわしい街並みや景観を創出し、大船駅周辺地区に活力と新たな魅力を与えます。



<文化・教育ゾーンの地区形成の考え方>

## 商業系土地利用の方針は・・・

大船の商業の特徴をバランスよく活かす空間として2本の商業軸と4つの商業拠点を位置づけ、各地区との回遊性・一体性を高め、魅力的な商業環境と賑わいの中心として活力の創出を図ります。

### ●北地区商業拠点

仲通の北に位置する商業拠点到にふさわしい商業施設の導入に努めるとともに、大東橋周辺地区と連携を図りながら魅力ある空間づくりをめざします。

### ●交流型商業拠点

既存の再開発ビル等や東口再開発事業第2地区と仲通の賑わいが交差することによる交流型の商業施設を中心とした商業拠点の形成をめざします。

仲通との交差部は、路面店の魅力を活かした商業施設を導入し、賑わいの連続性を創出するよう努めます。

### ●下町・市場的商業拠点

下町的で市場的な活気と魅力、賑わいのある路面店を中心とした商業集積による商業拠点の充実を図ります。

### ●芸術館周辺商業拠点

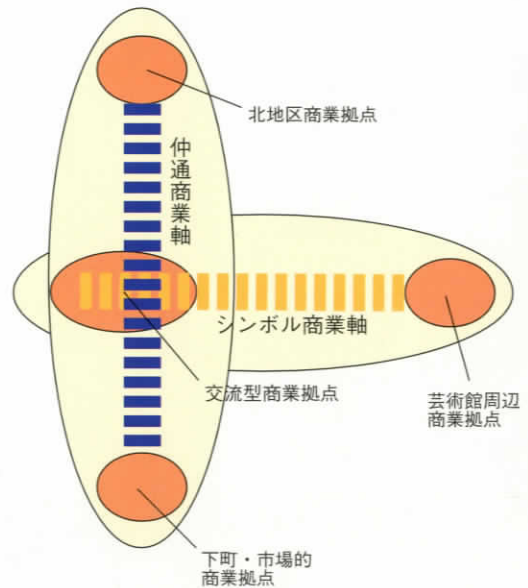
既存のショッピングセンター等を核として、買物客や鎌倉女子大学大船キャンパスの学生等を対象にした商業施設により商業拠点の形成をめざします。

### <仲通商業軸>

下町的な雰囲気や市場的な賑わいを活かし、生鮮三品等、生活に密着した商業環境の向上に努めます。

### <シンボル商業軸>

都市軸にふさわしい魅力的な歩行者空間や街並みを創出し、賑わいを高めるとともに、商業施設の誘導を図ります。



【商業系土地利用の考え方】

## 道路・交通環境の整備は・・・

都市活動の広域化やまちの活性化に対応するため、両市域を含む大船駅周辺の道路ネットワークの形成を、次の整備方針のもとにすすめます。

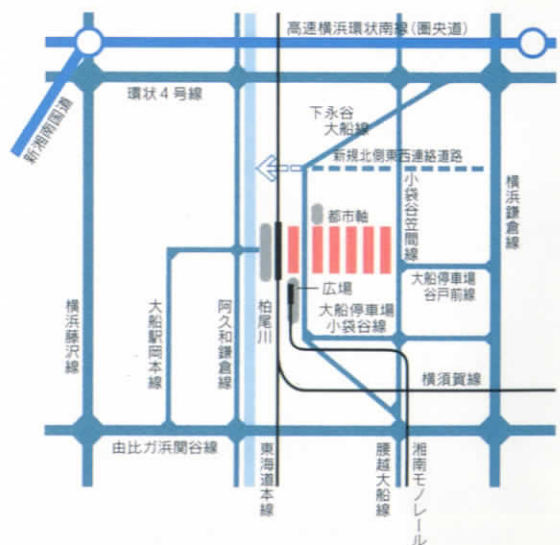
●外郭道路の整備によって、広域からの自動車交通の利便性を強化し、地区への通過交通の流入を抑制します。

●駅前にスムーズにアクセスするための道路を整備します。

●地区への交通利便性の向上や駅前の交通混雑の抑制、深沢、戸塚等の周辺拠点との連携強化を図ります。

●地区内交通の整序を図るための駐車場、駐輪場の整備誘導や駐車場案内システム、交通マネジメントシステムの導入検討等をすすめます。

●駅や道路等の公共空間のバリアフリー化など、優しさと快適さを備えた潤いと魅力のある歩行者空間の整備をすすめます。



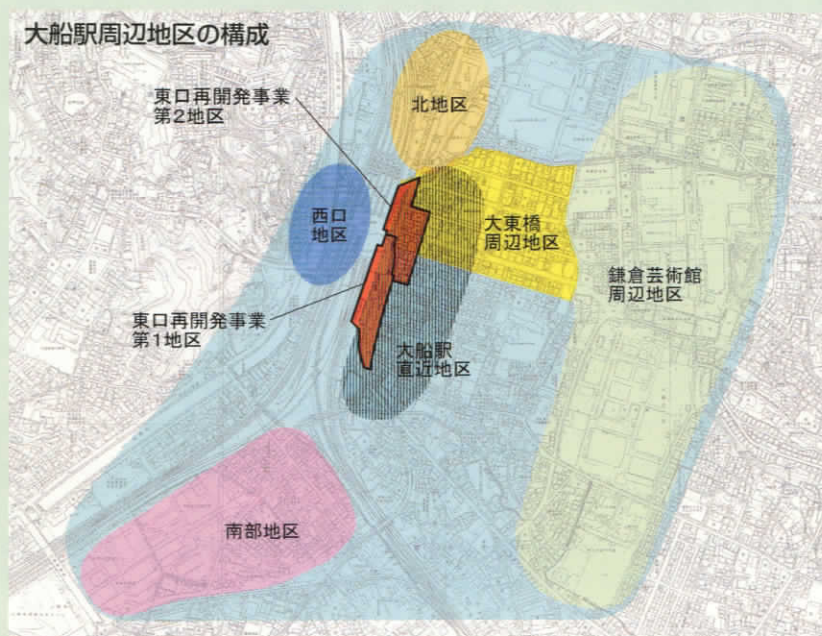
【道路交通施設整備方針図】

●神奈川県、横浜市、鎌倉市では、横浜・鎌倉両市域に及ぶ大船駅周辺地区の総合的な都市づくりをすすめるため、平成5年9月に「大船駅周辺地区整備連絡協議会」を設置し、市民や地元の方のご意見・ご要望をいただきながら「大船駅周辺地区都市づくり基本構想」（平成6年7月）をまとめました。

●この基本構想では、地区の将来像を▷商業拠点の形成と都市機能の強化による賑わいあるまち▷活力に溢れ、くらしに文化の香りがただようまち▷優しさと快適さを備えた魅力ある都市環境を創造するまちとして都市づくりをすすめていくことにしました。

●そして、これらをもとに、土地利用、道路交通施設、主要な都市づくり事業など大船駅周辺のこれからの都市づくり計画を案として紹介したものがこのパンフレットです。

●今後とも、市民、企業、関係者の皆さんと協議を重ね、計画の具体化をすすめたいと考えています。



大船駅周辺のまちづくりについて  
ご意見をお聞かせください。

お問い合わせ先

鎌倉市大船駅周辺整備課

〒247-0056 鎌倉市大船二丁目7番8号 大船駅周辺整備事務所  
Tel 0467-45-3970 Fax 0467-47-3029  
E-mail ofn\_ard@city.kamakura.kanagawa.jp